

# 楽<sup>2</sup>ライブラリ移行事例

## 契約書ファイリング

### 導入の狙い

検索時間の短縮と電子化コストの削減

### 導入企業の情報

所在地：東京都  
導入部署：本社及び全国の営業所の営業部門  
利用人数：200名  
楽<sup>2</sup>データ量：総バインダ数：1200個/160GB



### 導入前の運用



- ◆ 全国の営業拠点から契約書原本を本社（総務部門）に集約
- ◆ 外部の委託業者に楽<sup>2</sup>ライブラリへの登録を委託
- ◆ 楽<sup>2</sup>ライブラリへの登録後、原本を外部倉庫で保管
- ◆ 変更があった場合など必要に応じて契約書原本を外部倉庫から取り寄せ

### 導入前の課題

契約書の電子化と保管コストが年々増加



- ◆ 袋綴じの契約書を電子化して、楽<sup>2</sup>ライブラリへの登録作業を外部業者に委託しているが、電子化コストを抑えるため内製化したい。
- ◆ 楽<sup>2</sup>ライブラリでは、契約書番号で検索すると非常に時間がかかる。

- ◆ コストの削減と契約書検索時の効率化、時間短縮を図りたい。

### 顧客の要件

- ◆ 電子化作業は障害者雇用を予定しており、操作が簡単であること。
- ◆ バックオフィスシステムで管理している契約管理システムと連携できること。
- ◆ 契約書の検索時間を大幅に短縮できること。

### 導入のポイント

- ◆ 楽<sup>2</sup>ライブラリの書庫/キャビネット/バインダのフォルダ階層を維持して移行
- ◆ Microsoft SQL Server Express Edition(無償版) に検索用データベースを構築し検索スピードを飛躍的に向上
- ◆ 契約管理システムの顧客マスターと連携し、顧客マスター項目で契約書の検索を可能とする

# 導入後の運用

# らくらくドキュメントサーチで契約書の登録と検索

## 契約書の検索

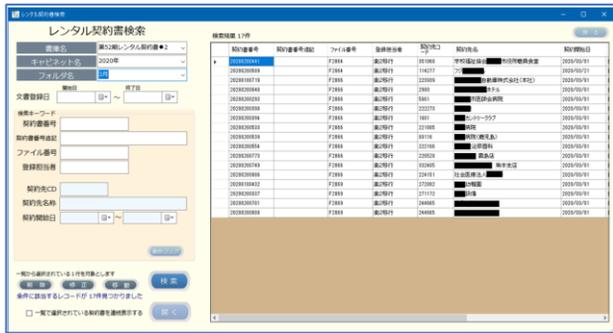
### ◆ 楽<sup>2</sup>ライブラリから移行した契約書と新規登録した契約書を統合

- ▼ DocumentRoot
  - ▶ 第51期レンタル契約書●2
  - ▶ 第52期レンタル契約書●1
  - ▼ 第52期レンタル契約書●2 → 書庫フォルダ
  - ▶ 2019年
  - ▼ 2020年 → キャビネットフォルダ
    - ▶ 1月
    - ▶ 2月
    - ▶ 3月 → 契約月に相当するフォルダ

楽<sup>2</sup>ライブラリのインデックス情報の契約書番号と、バックオフィスの契約管理システムの契約書マスターと照合し、契約開始日を元に年・月フォルダに自動振り分けして移行

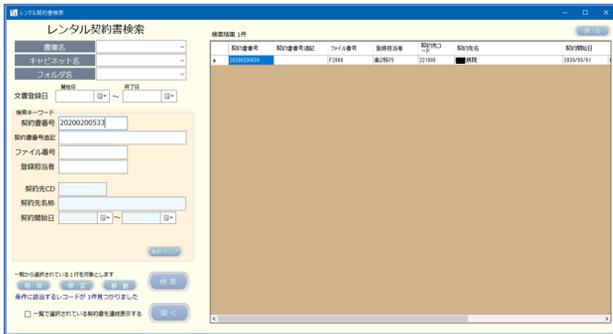
新規登録では、スキャン時にファイル名を契約書番号で保存し、契約書番号で契約書マスターと照合し、契約開始日を元に年・月フォルダに自動振り分けして登録

### ◆ 楽<sup>2</sup>ライブラリの操作イメージでツリー検索による契約書の検索



Adobe Acrobat Readerで閲覧

### ◆ 楽<sup>2</sup>ライブラリのインデックス情報に付与されていた契約書番号で検索



Adobe Acrobat Readerで閲覧

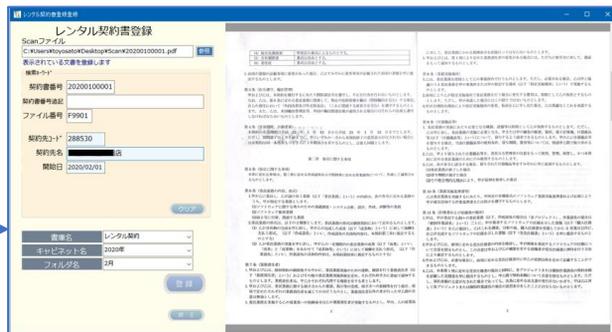
## 契約書の登録

### ◆ 契約書検索用キーワードを付与して登録

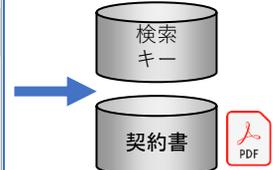
契約管理システム



ScanSnap SV600



Microsoft SQL Server



## 導入後の効果

- ◆ 契約書検索時間が十数秒から数秒に大幅に短縮できた。
- ◆ 操作が容易なため、登録作業が内製化でき登録の委託費を0円に削減できた。
- ◆ 全国の営業所から高い評価を得ることができ業務効率の改善に寄与できた。